

# 留学だより

山本勇人



2015年1月より大山教授のご配慮により San Diego の Sanford Burnham Perbys Medical Discovery Institute に留学させていただいております。早いものでもうすぐ1年が経とうとしております。遅くなりましたが近況報告をさせていただきます。

留学先はご存じの方が多くと思いますが、大山教授はじめ坪井先生、畠山先生、米山先生、飛澤先生が以前いらした旧称 Sanford Burnham institute になります。今年、Perbys さんという San Diego では有名な philanthropist より1億ドルの寄付があり、Sanford Burnham から Sanford Burnham Perbys という名前に変わりました。



私の所属している Yamaguchi Lab は Yu Yamaguchi 教授を始め、Lab manager 1人、PhD 2人、テクニシャン1人の計5人で、みな日本人です。その他は年に2回ほど1-3ヶ月程度、東北大学と福井大学の医学部3年生が研究室研修という名目で勉強に来ております。

Yamaguchi Lab はプロテオグリカンの構成成分であるヒアルロン酸、コンドロイチン硫酸、ヘパラン硫酸の研究に特化しており、Brevican というプロテオグリカンを発見したのも Yamaguchi 先生です(恥ずかしながらこちらに来て知りました)。現在は中枢神経系と骨疾患の研究が中心で、中枢神経系(自閉症、てんかん等)に関しては lab manager の入江先生が、骨疾患の多発性骨外骨腫(MHE)とヘパラン硫酸の研究は広島大学歯学部から留学に来ている先生が担当しております。

私は、山口先生のご配慮により、前立腺がんとヒアルロン酸について研究を

させていただいております。前立腺がんにおいては癌細胞ではなく間質のヒアルロン酸の発現と悪性度や予後が相関するという報告が多く、ヒアルロン酸合成酵素ノックアウトマウスを用いた実験を行っております。周りが日本人ということもあり、実験の細かいノウハウなども丁寧に日本語で教わりながら研究しております。

日常生活ですが、研究所ですので、朝早くから仕事をする人もいれば、10時頃にゆったりと通勤する人もいます。帰宅時間は早い人で3時頃から帰り始め、研究所周辺は4時頃には渋滞になってしまいます。平日は毎日午前10時頃より1時間半程度、写真のように研究室で実験結果や研究方針などを話し合っております。Yamaguchi先生の研究室創設当初からの考えで、堅苦しくない雰囲気話し合うようにしているそうです。



(左から広島大歯学部卒犬伏先生、東北大皮膚科大学院生（短期留学）、入江先生、山口先生)

そろそろお気づきと思いますが、かなり日本語に浸かった生活をしているので、現在は英会話レッスンを受けております。

その他、研究室で時々外食をします。Mongolian hot pot という火鍋レストラン

ンにいたり、La Jolla shores でピザを食べたりと皆で楽しんでおります。



Mongolian hot pot にて



La Jolla shores にて

San Diego の住み心地はというと、一年中温暖で雨も少なく、朝晩の冷え込みに注意すれば非常に住み心地が良いです。アメリカでも人気の都市というのも頷けます。そのせいか、家賃は私の住んでいる UTC エリアは月最低 1500 ドル〜と比較的高めの設定になっているようです。引っ越しの際は必ずトラブ



ルに遭遇すると言われておりましたが、便器がつまる程度で比較的スムーズに引っ越しができました。家財道具もアメリカ特有の中古の個人売買を利用して比較的安めに留学のセットアップができました。セットアップの際のトラブルといえば、カリフォルニアの自動車免許を取る際に、私がカンニング疑いで一発退場を食らったことくらいでしょうか。(カンニングはしていません)

週末は日本にいる時と違い、出張や当直もないので、妻と二人で近くの公園や海岸を散歩したり、釣りをしたりと休日を楽しんでおります。たまに福田先生とお食事やカラオケを楽しむこともあります。



カラオケルームにて



Ocean beach pier にて

最後になりますが、研究に関してはさらなる努力が必要と感じております。帰国後に繋がるような考え方、**method**を学びたいと思っております。また、研究以外にも様々人生経験できれば考えております。日本では決して体験できない貴重な時間をいただき、感謝しております。大山教授、講座の皆様、誠にありがとうございます。それでは失礼致します。